



森林法の改正により、効率的な林業経営を目指す森林経営計画制度が導入されたほか、公共建築物の木造化と内装の木質化を促進する法律が施行となるなど、森林・林業を取り巻く情勢の変化を踏まえ、都は、「東京における持続的な森林整備と林業振興」を目指して、平成 26 年 3 月に「森づくり推進プラン」を改定しました。

同プランでは、「効率的な森林整備と安定的な木材供給」と、「民間が有する力の幅広い活用」という 2 つの視点に基づき、課題をより効果的かつ効率的に解決するための 4 つの戦略を立て、都民や企業等にも参画していただきながら、施策を展開してきました。

森づくり推進プラン（平成 26 年 3 月）の体系

基本的視点 1 効率的な森林整備と安定的な木材供給

基本的視点 2 民間が有する力の幅広い活用

戦略 1 多様で包括的な森林整備の推進

戦略 2 効率的な林業経営の実現

戦略 3 東京の木「多摩産材」の利用拡大

戦略 4 都民や企業等との協働による森づくりの促進

貴重な財産である東京の森林を健全な姿で次世代に継承

	主な具体的取組	平成 26 年度から令和元年度までの成果
森林区分の明確化	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林区分の明確化 ● 森林整備事業の再構築 ● 島しょの特性に応じた森林整備 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 木材生産機能の発揮を優先する「生産林」と、公益的機能の発揮を優先する「保全林」の区分を創設 ▶ 島しょの有用広葉樹の造林を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ヤブツバキ造林 1,015 本 ▶ エダシャク類など島しょの森林病虫害の防除を支援
森林の循環の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● スギ花粉発生源対策の着実な実施と伐採更新の推進 ● 植栽や保育の推進 ● 企業等からの支援の拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ スギ花粉発生源対策事業の後継事業として森林循環促進事業を構築し、スギ・ヒノキ林の伐採と少花粉スギ等への植え替えを継続 <ul style="list-style-type: none"> ・伐採契約：226ha (事業開始から R1 年度までの累計：620ha) ▶ 造林・保育事業により林業経営体等が行う森林整備や、間伐材の搬出を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・植栽：233ha ・下刈：1,829ha ・枝打：23ha ・間伐：1,823ha ▶ 森林再生事業により間伐等を推進し、手入れ不足の人工林の公益的機能を増進 <ul style="list-style-type: none"> ・間伐：3,543ha ▶ 「企業の森」の協定締結を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・協定締結：12 件
森林被害等への的確な対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 伊豆大島の復旧 ● 保安林の適正な管理 ● 治山事業の着実な推進 ● シカ被害への対策 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 平成 25 年台風 26 号による伊豆大島の被災箇所を復旧 <ul style="list-style-type: none"> ・治山事業：31 か所 ・林道事業：11 か所 ▶ 保安林の指定 <ul style="list-style-type: none"> ・指定面積：253ha ▶ 治山事業により、台風等で被災した森林を復旧 <ul style="list-style-type: none"> ・多摩地域：20 か所 ・島しょ地域：114 か所 ▶ 市町村が行う管理捕獲の支援、隣接県との共同捕獲、防護柵等による防除を実施 <ul style="list-style-type: none"> ・管理捕獲及び有害鳥獣捕獲：1,814 頭

	主な具体的取組	平成 26 年度から令和元年度までの成果
林業のコスト削減の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 林道の整備促進 ● 森林作業道の整備促進 ● コスト削減に資する伐採搬出システムの確立 ● 植栽や保育におけるコスト削減の検証 ● 高性能林業機械の導入推進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 林道の開設に加え、既存林道の拡幅等による高規格化を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 林道開設：7.8km ▶ 造林・保育事業により、林業経営体等による森林作業道の整備を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林作業道整備：44.1km ▶ 東京型低コスト林業技術の実証的開発事業により、多摩地域に適した施業システムを実証 ▶ 林業経営体等の高性能林業機械の導入を支援
スケールメリットを活かす集約化の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 森林経営計画の策定促進 ● 施業集約化の推進 ● 森林境界の明確化 ● 集約化を担う人材の育成 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 林業経営体等の森林経営計画の早期策定を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 都内認定面積：12,234ha (事業開始から R1 年度までの累計) ▶ 施業集約化の基盤情報となる林地台帳の原案を整備し、市町村に提供 ▶ 林業経営体が行う森林境界の明確化を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ 境界明確化面積：2,576ha ▶ 林業経営体の希望に応じた技術者を派遣するほか、先進事業体への出向を支援
林業労働力の確保と技術者の育成	<ul style="list-style-type: none"> ● 新規就業者の確保支援 ● 多様な主体との連携による育成 ● 森林作業道整備を担う技術者の育成 ● 伐採搬出を担う技術者の育成 ● 林業事業体の体力強化 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 新規就労者の宿舍借り上げ費のほか、本採用前の仮採用に係る経費を補助し、新規就業を促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 新規就業者数：78 人 ▶ 新規就業者から高度技術者までを対象とした体系的な研修を実施 ▶ 傷害保険や退職金共済の掛金等を補助し、林業経営の基盤強化を支援

	主な具体的取組	平成 26 年度から令和元年度までの成果
公共利用の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 都の率先利用 ● 区市町村による利用拡大 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 東京 2020 大会の関連施設等に率先的に多摩産材を使用 <ul style="list-style-type: none"> ・都関連施設における利用：10,683 m³ ▶ 区市町村施設における多摩産材利用を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・区市町村施設における利用：1,647 m³
民間需要の更なる開拓	<ul style="list-style-type: none"> ● 住宅での優先的な多摩産材利用の推進 ● 製品開発の推進 ● 木質バイオマスエネルギーの地産地消 ● 企業と連携した P R ● 様々な機会を活用した多摩産材利用拡大 P R 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 住宅展示場に多摩産材のモデルハウスを設置し、定期的に P R イベントを実施 ▶ 多摩産材の新たな需要を創出する内装材や家具等の新製品開発を支援 ▶ 下水道局と連携し、木質バイオマスと下水汚泥の混合焼却事業を実施 ▶ P R 効果の高い商業施設等における多摩産材利用を支援 <ul style="list-style-type: none"> ・助成施設数：13 施設 ▶ 多摩産材の木製品展示会や、全国の地域材製品の展示商談会（モクコレ）を開催
供給体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 情報提供窓口の設置 ● 新たな供給体制の構築 ● 品質及び供給能力向上への支援 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 「多摩産材情報センター」を開設し、利用者と供給者をコーディネート <ul style="list-style-type: none"> ・相談対応実績：1,655 件 ▶ 主伐事業で搬出した木材の安定的な流通経路を確保 ▶ 森林管理認証や C o C 認証の取得を支援
次代を担う子供たちを中心とした木育活動の推進	<ul style="list-style-type: none"> ● 子供たちが利用する施設での積極的な多摩産材利用 ● 小学校等への出前講座 ● 木とふれあう機会の提供 ● 都市部の子供たちによる森林体験 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 保育園等の木質化や、木育活動を支援 ▶ 東京の森林・林業や、木を使うことの大切さを伝えるインターネット教材及び指導用資料を作成、公開 ▶ 木工・工作コンクールを実施 ▶ 東京の森林・林業や、多摩産材の生産から利用までの過程を学ぶ現地体験ツアーを実施

	主な具体的取組	平成 26 年度から令和元年度までの成果
都民や企業等の構築と多様化 仕組みの構築と多様化に 応えた	<ul style="list-style-type: none"> ● 都市部住民への情報提供 ● 「とうきょう森づくり貢献認証制度」の充実 ● 都民の森づくりへの参画を促進 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 多摩産材情報センターや様々なイベント等を通じて、都市部の住民に情報を発信 ▶ とうきょう森づくり貢献認証制度により企業等との協働を推進 <ul style="list-style-type: none"> ・ 森林整備サポート認証：33 件 ・ 多摩産材製品認証：33 件（228 製品） ・ 建築物等認証：27 件 （事業開始から R1 年度までの累計）
多様な主体との協働による森づくり	<ul style="list-style-type: none"> ● 「花粉の少ない森づくり運動」の推進 ● 森林ボランティア活動の実施 ● 協働の拠点の設置 	<ul style="list-style-type: none"> ▶ 他局の事業と連携した P R や、民間団体とのコラボレーション等により「花粉の少ない森づくり運動」を一層拡大 <ul style="list-style-type: none"> ・ 募金金額：240,535 千円 ▶ 「とうきょう林業サポート隊」を募集し、都内の森林で定期的に活動 <ul style="list-style-type: none"> ・ 登録者総数 1,064 名 ・ 活動開催 397 回 （事業開始から R1 年度までの累計）